



大阪ガス

ガステーブルコンロ

取扱説明書

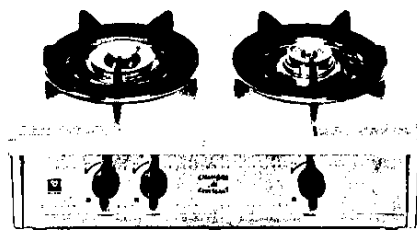
10-838型

10-839型

10-335型

保証書付

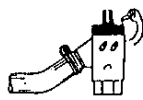
型式名 RTS-2CT-L
RTS-2CT-R



ガス器具をお使いになる時のご注意



ガスゴム管も
ときどき点検
よいゴム管を
カッチリと



ガス器具を
お使いになった
あとは必ず
ガス元せんも
閉める習慣を



毎日使う
ガスコンロの
バーナなど器具も
ときどきお手入れを



ガス器具は
ガスの種類にあった
正しいものを

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガステーブルコンロ
を求めいただきありがとうございました。

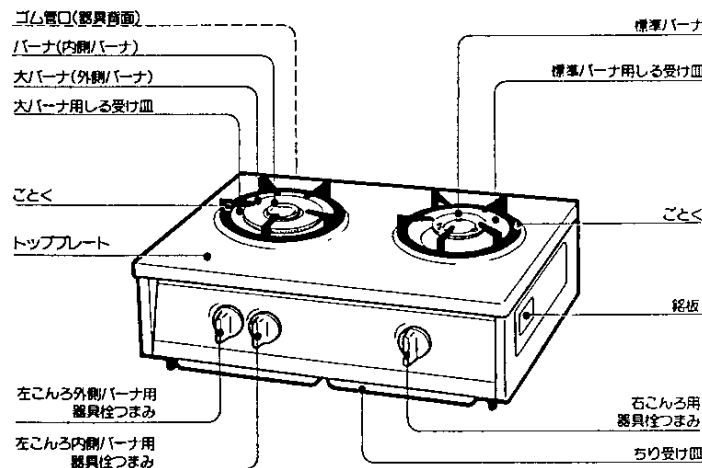
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を
大切に保存してください。

もくじ

●各部の名称	1
●特に注意していただきたいこと	2
●器具の設置	8
●使用手順	12
●使用時のご注意	14
●煮こぼれ消火センサーが作動したときの処置方法	15
●日常の点検・手入れ	16
●故障・異常の見分け方と処置方法	19
●長期間使用しない場合	20
●アフターサービスのお申し込み	20
●特 長	21
●外形寸法図と仕様一覧表	22
●別売部品のご紹介	23

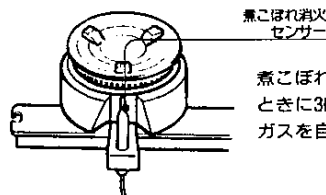
●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

各部の名称



図は 10-838型
図は 10-335型です。

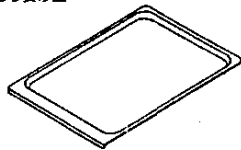
10-839型は、バーナ(大バーナ・標準バーナ)が左右逆になっています。



煮こぼれなどで火が消えた
ときに30秒から1分以内に
ガスを自動的に止めます。

● 附属品

ちり受け皿



ゴム管ホルダー



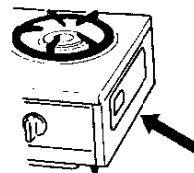
特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

● ガスの種類を確かめてください。

ガス器具本体の右側面にはついている銘板(ラベル)に表示のガスの種類とお宅のガスが一致しているかを必ず確かめてください。



(銘板)

メーカー型式

ガスの種類およびグループ

ガス消費量

製造年月日および製造番号

製造業名

- 都市ガス用6C
- 都市ガス用6A
- 都市ガス用13A
- LPガス用

● ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。

● 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

用途についてのご注意

● 調理以外の用途(炭・練炭おこし・衣類の乾燥など)には使用しないでください。

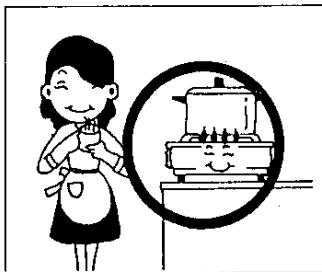
過熱・異常燃焼などによる焼損・火災などの危険があります。



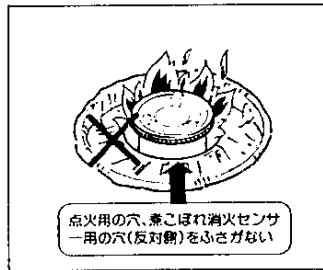
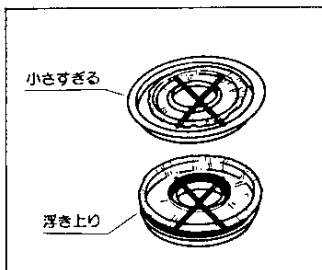
特に注意していただきたいこと②

市販の補助用具使用についてのご注意

- 極端に大きな鉄板やなべ、熱を逃がさないようにするためのなべ枠、または不良の補助用具などで炎をふさいで使うことはさけてください。
不完全燃焼をおこしたり、器具を異常に過熱し危険です。



- トッププレートのしる受け部の上に市販のアルミはく製する受けを敷いてお使いになる場合は、しる受け部に十分なじむようにしてお使いください。

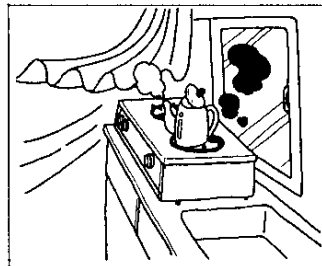


- 点火用の穴、煮こぼれ消火センサー用の穴をふさいだり、バーナの炎に触れると点火しなくなったり不完全燃焼の原因となりますので注意してください。

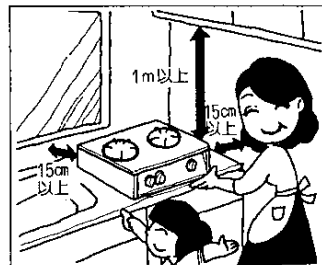
特に注意していただきたいこと③

使用場所についてのご注意

- 強い風の吹き込む所では使用しないでください。
炎が風で吹き消えることがあります。
- カーテンや、燃えやすいものの近くでは使用しないでください。
火力が強いので、炒め物の油などが発火することがあります。
- たなの下など、落下物の危険のあるところでは使用しないでください。



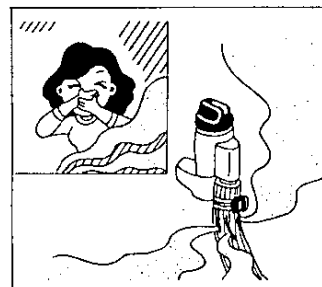
- テーブルコンロの周囲が木材のような可燃性の壁面の場合は、過熱を防ぐため左右及び後面ともに15cm以上、上方は1m以上離してお使いください。
- 上記の距離がとれない場合は、必ず別売の防熱板を取り付けてください。
壁が長期間加熱されると比較的低温でも自然発火することがあります。



使用上のご注意

ガス漏れ予防

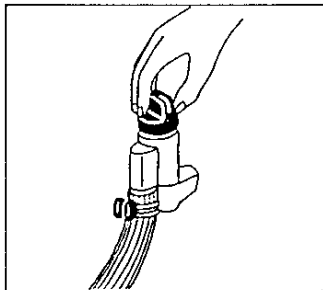
- ゴム管はガス用ゴム管を使用し、ビニール管は絶対に使用しないでください。
ビニール管は弾力性がなく、熱にも強くありません。
- ゴム管は良質のものを用い、ときどきとりかえてください。
ゴム管が古くなりますと、ガス元栓や器具のホースエンドから抜けやすくなったり、ヒビ割れてガス漏れの原因になり危険です。



特に注意していただきたいこと④

使用上のご注意

- 器具をご使用にならないときや外出前、まだおやすみ前には万一の事故がないように、必ずガス元栓を閉めてください。
- 使用中は決して外出しないでください。カラ焚きになるなど思わぬ事故の原因になります。
- 使用後は必ず器具栓を閉じ、消火したことを確かめてください。
- 使用中はときどき正常に燃焼していることを確かめてください。

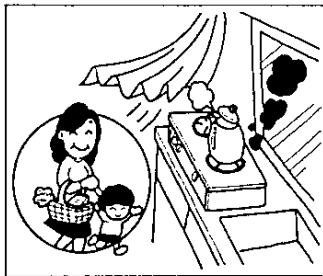


火災予防

- 天ぷらなど油料理の場合は、火をつけたまま場所を離れたり、加熱しすぎないようにしてください。
温度が上がりすぎると、油が自然発火し、火災の原因となります。
特に大バーナ側は火力が強いため、油の温度が早く上がります。
- 器具の上やそばに燃えやすいもの(紙、カーテン、家具、揮発油など)を絶対にいたり近づけたりしないようにしてください。

外出などについてのご注意

- 火をつけたまま就寝、外出は絶対にしないでください。カラ焚きになるなど思わぬ事故の原因となり危険です。

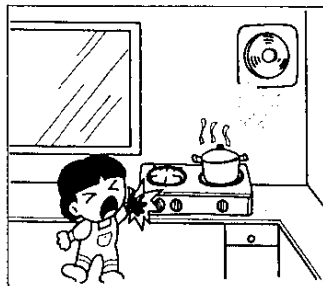


特に注意していただきたいこと⑤

使用上のご注意

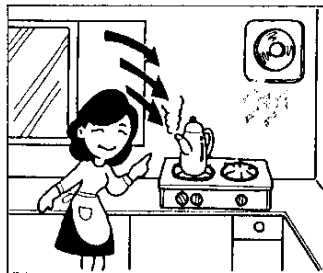
やけどのご注意

- ご使用中および使用直後は、器具本体とその周辺は熱くなりますので、手を触れたりしないでください。特に小さなお子様がいるご家庭はご注意ください。



換気のご注意

- ご使用と同時に換気扇を回すなど換気にご注意ください。
ガスが正しく燃えるためには、ガスの6～10倍もの空気が必要です。しめぎった部屋で長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険があります。

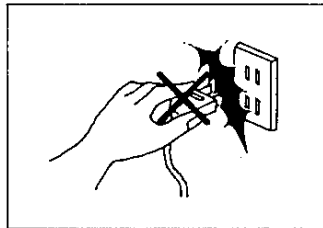


ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス元栓を閉じ、窓や戸を全部あけて、大阪ガス支社または大阪ガスサービスショップに連絡してください。

＜ご注意＞

万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり換気扇その他の電気器具にふれたりしないでください。(スイッチの入・切や電源プラグの抜き差し等) 火や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります。



特に注意していただきたいこと⑥

使用上のご注意

異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときはそのままお使いにならず、直ちにご使用を中止（器具栓、ガス元栓閉止）して十分な点検をお願いします。

（故障・異常の見分け方と処置方法については19ページをお読みください。）

日常の点検・手入れ

- 器具を安全、快適にお使いいただくために、日常の点検、手入れは必ず行なってください。（詳しくは16ページをお読みください）
- 故障又は破損したと思われるものは使用しないでください。不完全な修理は危険です。
- 万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご連絡ください。

器具の設置

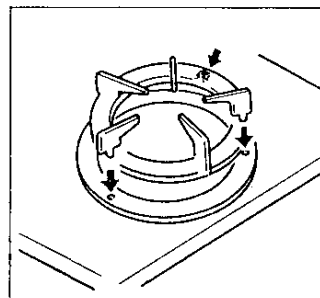
設置前の準備と確認

- 各部分のあて紙や包装部品を取り除き、「各部の名称」のように正しく組立ててください。
- 器具銘板の表示ガス（ガスグループ）とご使用になるガスとが一致しているかご確認ください。

部品の取り付け

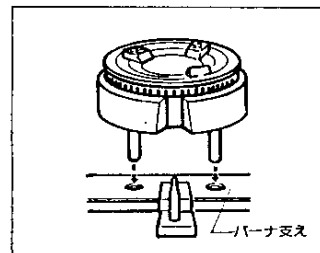
- しる受け皿をトッププレートの上にガタつきのないようにのせてください。

- ごとくの「奥」の表示が奥にくるようツメをトッププレートの丸穴にあわせ、ガタつきのないように差し込んでください。



- バーナがバーナ変えに正しく差し込まれているか確認してください。

バーナは、右こんろ用と左こんろ用で異なります。外径の大きい方が大バーナ用、小さい方が標準バーナ用です。間違いのないように取り付けてください。



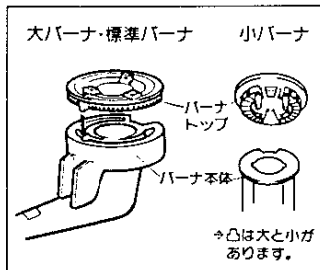
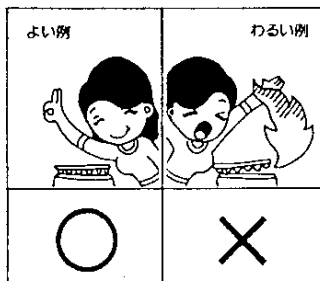
器具の設置②

●バーナトップはギリギリが下になるようにはめ込んでください。またバーナ本体より浮き上がらないようにはめ込みを確認してください。

●バーナトップの取り付け
バーナトップの上面に▼印があります。標準バーナ、大バーナともに▼印が前側になるようにセットしてください。また小バーナは溝が前後になるようにセットしてください。

＜ご注意＞

この器具のバーナはすべてバーナトップに凸、バーナ本体に凹があり、各々はめ込みセットする構造になっています。セットした後に必ず浮き上がっていないが確かめてください。

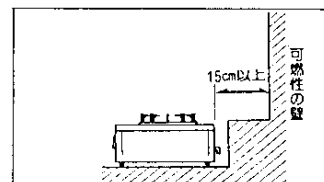
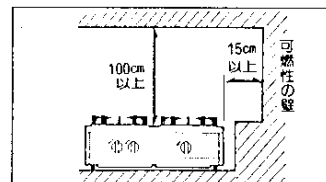


器具の設置③

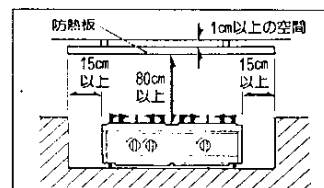
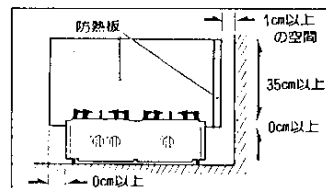
設置上のご注意

- 丈夫で水平なガス台上に設置してください。
- 耐久性などの点からできるだけ湿気のないところを選んでください。
- 周囲に可燃物（木製の壁、たななど）のある場合
 - ・トッププレートより上の側面及び背面は木製のような可燃性の壁から15cm以上離してください。可燃性の壁にステンレス板などを張ってある場合も同様です。また上部は器具上面から100cm以上離して使用してください。

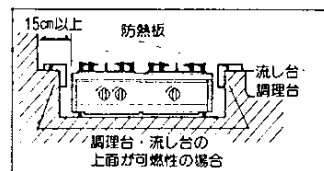
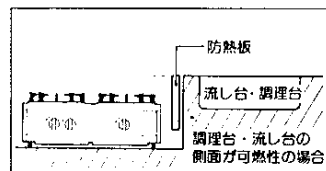
（火災予防条例で定められております）



- 可燃性の壁（ステンレス板などを張りつけた可燃性の壁も含む）から15cm以上離して設置できない場合
 - ・図のように必ず別売の防熱板を取り付けて使用してください。（15-100-0084-8）



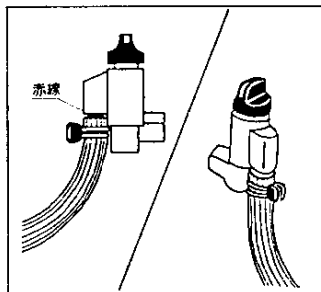
- 可燃性の壁面の高さが35cm以下の場合には左下の図のように取り付けてください。
- 可燃性の壁から15cm以上離して設置できる場合でも器具のトッププレートと流し台、調理台などの上面がほぼ同一のときは右下の図のように防熱板で流し台、調理台の上面を保護してください。（15-100-0105）



器具の設置④

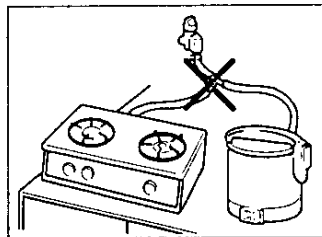
ゴム管の接続

- ゴム管は赤線まで差し込んでしっかりと止めてください。
- 9.5mmφ(内径9.5mm)のゴム管を使用し、ガス元栓・器具のゴム管口とも赤線まで十分差し込んで、ゴム管止めでしっかりと止めてください。
ゴム管止めでしっかりと止めていないと、知らずにはずれかかってガス漏れが生じることがあり危険です。

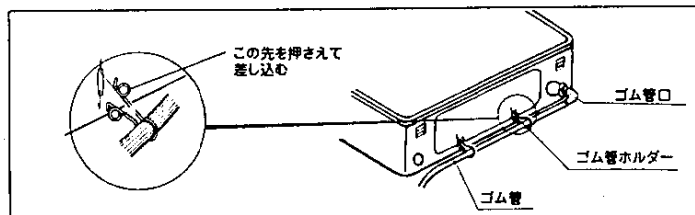


- ゴム管はガス用ゴム管を用い、折れたりねじれたりしないようできるだけ短くし、また器具の下を通したり、器具に触れないようにしてご使用ください。

- ゴム管の縫ぎたしおよび二又分岐はしないでください。



- ゴム管が器具後部を横切る場合は、付属のゴム管ホルダーにゴム管を通し、図のように器体後部の穴に差し込んで固定してください。

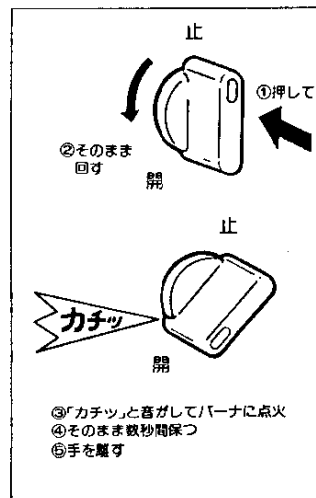


使用手順

点火前の準備と確認

- 器具の近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものが置いていないことを確認してください。
- 器具栓つまみが「止」の位置にあることを確認したのち、ガス元栓を全開にしてください。

点火



- 器具栓つまみを押しながら左（開の方向）へゆっくりいっばいに回してください。
- 「カチッ」と音が出てバーナに点火します。バーナへ火移りしたことを確かめてから数秒間（煮こぼれ消火センサーが働くまで）そのまま押し続けてください。
(途中で手を離すと点火しないことがあります)
- 器具栓つまみから手を離したときに、火が消えた場合は保持時間の不足です。もう一度同じ操作を繰り返し器具栓つまみの保持時間を前回より長くして器具栓つまみを一旦強く押してからゆっくり手を離してください。

〈ご注意〉

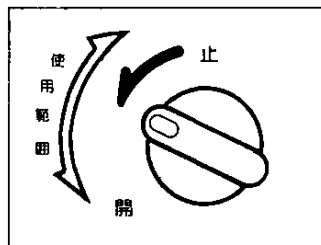
- はじめて点火するときは、ゴム管内に空気が入っていて点火しにくいことがあります。この場合には、空気が抜けるまで数回点火操作を繰り返してください。
- 万一点火しないときは、器具栓つまみを一旦もとに戻して、あらためて点火の操作をしてください。

使用手順②

空気調節

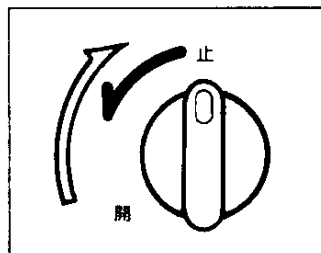
- 空気調節の必要のない構造になっております。点火したらそのままお使いください。

火力調節



- 器具つまみを回して調理に適した位置にしてお使いください。

消火



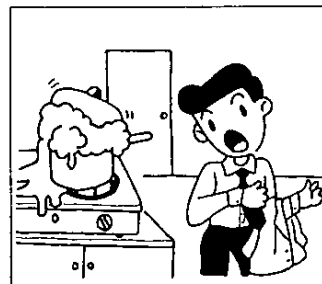
- 器具つまみを右へいっぱい(「止」の位置まで確実に)回して消火してください。

〈ご注意〉

- 必ず火が完全に消えたか確認してください。
- 消火後すぐにご使用になる場合は数秒程まってから点火してください。
- 長時間使用されないとき(就寝時、外出時など)は、必ずガス元栓も閉めてください。
- 小さなお子様がおられる場合でこんろから離れるときは、念のためガス元栓を閉めておいてください。

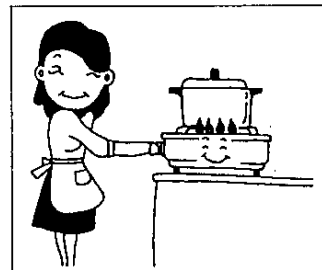
使用時のご注意

- 煮こぼれはバーナや器具を早くいためますのでご注意ください。(一度煮たつたら、沸騰がつづく程度の火力にしてご使用ください。
煮こぼれたときは、必ず完全にふきとってください。
煮こぼれで炎口がつまると炎が逆流して、器具の内部で燃えるおそれがあり危険です。

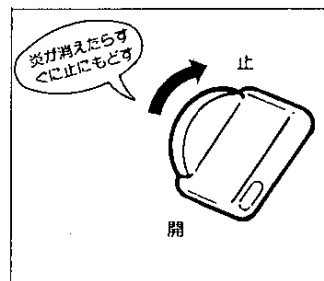


- 点火の際は、こんろになべやカンをかけて点火し、全部の炎口に点火したことを確かめてください。

- 炎の形や色の変化に気をつけてください。炎が異常に大きかったり、ふぞろいで音をたてたりすることがないようによく見てご使用ください。



煮こぼれ消火センサーが作動したときの処置方法



- 使用中バーナが消火したときは、すぐに器具栓つまみを「止」の位置にもどし、19ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」及び、次の方法により処置してください。

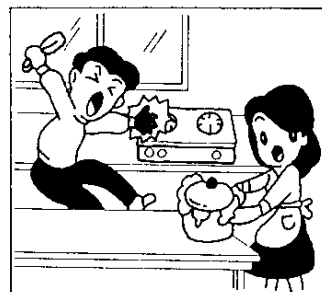
● 処置方法

- ・バーナの火が消えたときは煮こぼれ消火センサーが働いて自動的にガスが止まりますが完全に止まるまでに少し時間がかかります。(30秒～1分程度)バーナの消火に気づいたときは、すぐに器具栓つまみを「止」の位置にもどし、消火の状態にしてください。
- ・再点火される場合は、周囲にガスがなくなるまでしばらく(数分)待つてから「使用手順」に従って点火してください。

日常の点検・手入れ

点検・手入れの際のご注意

- 点検・手入れについては、下記の日常の点検以外は大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社に依頼してください。
- 点検で異常を見つけられたときは、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社に修理を依頼してください。
- 点検・手入れの前には必ずガス元栓を閉じ、器具が冷えてから行なってください。



点 検

- 安全にお使いいただくためにときどき点検してください。
- ・ゴム管はガス用ゴム管を使用し、器具およびガス元栓ともホースエンドの赤線まで十分差し込み、ゴム管止めで止めてあります。
- ・ゴム管が器具に触れたり、折れたり、ねじれたりしていませんか。
- ・ゴム管が古くなって、ひび割れしたり、差し込み口がゆるんでいるためにガスが漏れていないかときどき石けん水などで点検してください。
- ・器具の近くに、紙・プラスチック・油類など燃えやすいものを置いていませんか。
- ・バーナトップ、ごとくなどが正しくセットされていますか。
- ・バーナトップの炎口が煮こぼれなどで詰っていませんか。
- ・煮こぼれ消火センサーが煮こぼれなどで汚れたり、ぬれたりしませんか。

日常の点検・手入れ②

お手入れ

そ
の
つ
ど

●ごとか・トッププレート・しる受け皿・ちり受け皿

・そのつどお手入れしていただくのがいちばんです。煮こぼれなどの汚れは湿った布でふきとってください。液状の洗剤を布にふくませて汚れを落としたり(器体の場合)、洗剤をふくませたナイロンたわしで洗っていただき(器体を除く場合)、お手入れ後はよくしぼった布で洗剤や水気を十分にふきとってください。

〈ご注意〉

・お手入れのとき、器体内部機構に水がつかないようにご注意ください。

日常の点検・手入れ③

と
き
ど
き

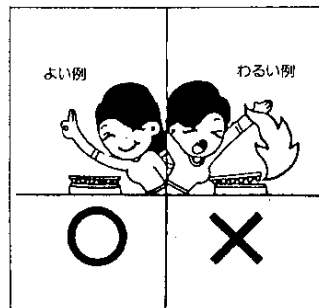
●バーナ

・バーナトップを取りはずし、ブラシやギリ状のもので掃除してください。
目づまりなどで悪くなったバーナは、取り替えていつもきれいな状態で使用してください。バーナを目づまりさせたまま使用しますと、不完全燃焼をおこすことがあります。



〈ご注意〉

- ・バーナトップの水洗いはできるだけさけ、水洗いされた場合は必ず乾いた布で十分水気をとっておいってください。
- ・バーナトップは大きい方(大バーナ)、小さい方(標準バーナ)と左右で異なりますので外された場合、間違いないように取り付けてください。
- ・バーナトップを取りはずされた場合は正しくセットしてください。(詳しくは8ページ部品の取り付けの項をお読みください)
- ・バーナ本体の水洗いはやめてください。中がさびる原因になります。



- ・煮こぼれ消火センサーは固いブラシなどでみががないでください。故障の原因になります。また煮こぼれなどはすぐふき取るように習慣づけてください。性能が十分発揮できないだけでなく、寿命も短めます。
- ・点火操作の火花の出る部分はさわらないでください。取り付け位置が狂いますと点火しなくなります。また火花の出る先端に手をふれたまま、器具栓つまみを操作しますと電気ショックを受けますからご注意ください。(ただし人体には害はありません)
- ・器具内の配線にはさわらないでください。

故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのま
まお使いにならず、ただちに使用を中止して十分な点検をお願いします。

原 因	現 象										参 照 ベ ー ジ
	器具はつぎのよう な状態になっている	点火しない・点火 しにくい	点火用パイロットが 消火しない	着火の火移りし にくい	暖発的に着火する	面炎で燃える	炎が安定しない	異常な音をだ てて燃える	使用中に消火した 消火しにくい	処 置 方 法	
ガス元栓の開け忘れ開き 不十分	○			○	○			○	○	有火の状態を確かめてからお部屋の ガス元栓を全開にする。	11
ゴム管内に空気が残ってい る	○									ガスが正常に出るまで十分注意し ながら空気を残さないようにする。	12
ゴム管の折れ曲がり・つ ぶれ	○			○	○			○	○	ゴム管の折れ・曲がりを直 す。	11
点火装置の電極部の汚れ	○				○					汚れを拭きとる。それでも直らな いときは点検を依頼する。	-
バーナ炎口づまり・空気 口づまり				○	○	○	○	○	○	つまりを取り除く。それでも直ら ないときは点検を依頼する。	13
バーナの取り付け不良				○	○	○	○	○	○	点検修理を依頼する。	-
バーナトップの取り付け 不良				○	○	○	○	○	○	正しく取り付ける。	9
点火操作が適切でない	○									「使用手順(点火)」参照。	12
器具栓つまみが前板に接 触		○								点検を依頼する。	-
点火装置のリード線の接 続不良	○									点検を依頼する。	-
点火装置の故障	○				○					点検・修理・部品交換を依 頼する。	-
器具の銘板と使用ガスが 不一致	○			○	○	○	○	○	○	点検・修理を依頼する。	2
煮こぼれ消火センサーが 作動	○								○	「煮こぼれ消火センサーが作動し たときの処置方法」参照。	15
煮こぼれ消火センサーの 故障	○								○	点検を依頼する。	-

処置方法や原因のわからないときは、お買い求めの販売店または大阪ガス支社へ
ご連絡ください。

長期間使用しない場合

- 各部の汚れを取り除き、十分に乾燥したのちほこりなどの異物が入らないよう
にビニールをかけて、お求めになったときの箱に入れ、湿気やほこりの少ない
ところへ保管してください。特にガスの通路部分(ホースエンドなど)にはほこ
りが入って通路をつまらせないように注意してください。

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 19ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理な
さらないでお買い上げの店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしく
は大阪ガス支社にご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことを
お知らせください。

- (1) 品 名……(テーブルコンロ)
- (2) 品 番……左側面に張ってあります。(例)
- (3) 現 象……(できるだけ詳しく)
- (4) 追 順……(できるだけ詳しく)

(N)10-838(U)

大阪ガス株式会社 [02]

転居される場合

- ガスには都市ガス13種類およびLPガスの区分があります。
ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要とな
りますので、転居先のガスの種類を確認の上、大阪ガスサービスショップまた
は大阪ガス支社にご相談ください。この場合調整・改造に要する費用は保証期
間内でも有料修理となります。

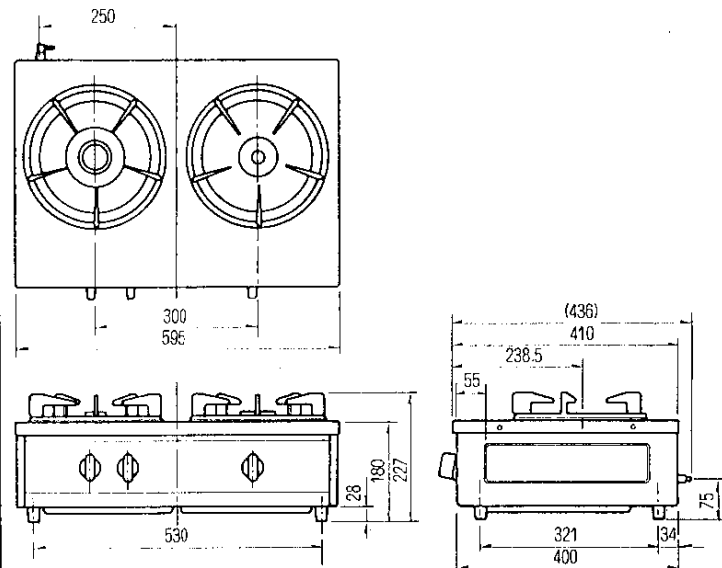
保証書について

- この器具には保証書がついています。
このテーブルコンロは保証書に記載のように、器具の故障について修理いたし
ます。詳しくは保証書をごらんください。
保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがあ
りますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

特 長

- 1 煮こぼれ消火センサー付きですので、煮こぼれや風などでバーナの火が消えたときは、ガスを自動的に止めます。火が着えてから自動的にガスが止まるまでに、30秒～1分程度がかかります。
- 2 バーナとする受け皿との隙間を極力狭くしましたので煮汁などが落ち込みにくくお手入れが簡単です。
- 3 保温から中華料理まで幅広い火力が得られる二重バーナ式の強火バーナ付きです。
- 4 ごとくは丸型鍋物・トッププレート・本体はステンレス製で、スッキリしたデザインです。
- 5 掃除のしやすい大きさのステンレス製のちり受け皿を組み込みました。

外形寸法図

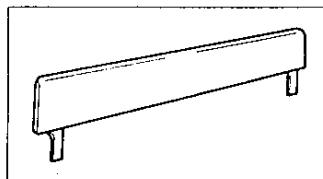


仕様一覧表

品 名	10-838・10-335			10-839	
型 式 名	RTS-2CT-L			RTS-2CT-R	
点 火 方 式	圧電式点火				
外 形 寸 法	高さ180mm(トッププレートまで)×幅595mm×奥行436mm				
重 量 (本 体)	11.3kg				
使 用 ガ ス 使用ガスグループ	1 時間当たりのガス消費量			全点火時 ガス消費量	ガス接続
	個別ガス消費量				
	大バーナ	小バーナ	標準バーナ		
都市ガス用	6C(kcal/h)	4,650	1,150	2,300	7,500
	6A(kcal/h)	4,500	1,000	2,000	7,200
	13A(kcal/h)	4,850	1,150	2,300	8,100
LPガス用(kg/h)		0.437	0.067	0.176	0.60

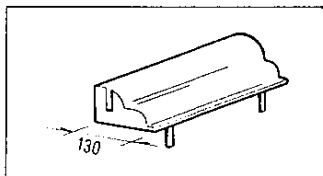
別売部品のご紹介

次の様な別売部品を用意しています。大阪ガス支社、サービスショップでお求めください。



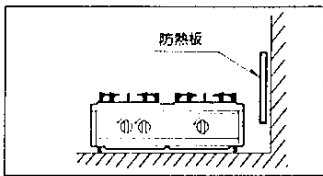
●バックガード(4M10-251-0300)

- ・油の飛散などによる器具後面や後壁の汚れを防止します。
- ・本体後面の左右切り込み穴へ、バックガードの突起部を差し込んで固定してください。



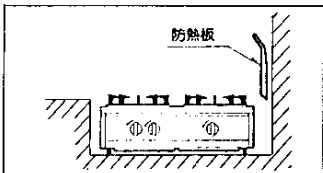
●バックガード(4M15-100-0113)

- ・ゴム管やガス元栓（場所による）はバックガードに隠われるため、汚れがら保護されます。又、バックガード上部は開閉式の蓋となっているためガス元栓の開閉も手軽に行えます。



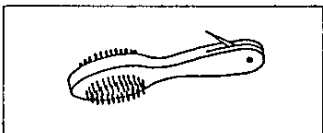
●防熱板(コードNo15-100-0084~8)

- ・設置場所で、可燃性の壁（ステンレス板等を張りつけた可燃性の壁も含む）から15cm以上離して設置できない場合、図のように取り付けて使用してください。



●防熱板((4)15-100-0112)

- ・60cm幅のガス台に設置されている場合、器具本体に取り付けて使用します。



●掃除ブラシ(4M94-100)

- ・バーナが目づまりしたときに掃除していただくとう安定した燃焼が得られ、効率よく安心して使っていただけます。

MEMO

おねがい

ガスくさいときは、ガス元栓を閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）大阪ガス支社、サービスショップにご連絡ください。

MEMO

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

南 支 社	〒557 大阪市西成区玉出東2-9-41	☎大 阪 06 (652) 0001
北 支 社	〒532 大阪市北区三軒3-6-35	☎大 阪 06 (301) 1251
堺 支 社	〒590 堺市住吉南町2-2-19	☎堺 0722(38) 1131
北 摂 支 社	〒563 東大阪市豊町29-6	☎高 槻 0726(71) 0361
阪 神 支 社	〒662 西宮市和上町4-14	☎西 宮 0798(26) 3101
東 部 支 社	〒578 東大阪市站東2-3-17	☎河 内 0729(62) 1131
京 南 支 社	〒573 枚方市西田宮町16-17	☎枚 方 0720(41) 1251
神 戸 支 社	〒850 神戸市中央区相生町5-13-10	☎神 戸 078(576) 5231
京 都 支 社	〒604 京都市中京区南九条西町358	☎京 都 075(231) 8151
奈良 支 社	〒631 奈良市平園北2-4-1	☎奈 良 0742(44) 1111
和 歌 山 支 社	〒640 和歌山市本町1-5	☎和 歌 山 0734(31) 2481
姫 路 支 社	〒670 姫路市神屋町4-8	☎姫 路 0792(85) 2221
東 播 支 社	〒675 加西市加吉町町東29-1	☎加 古 川 0794(21) 1801
豊 岡 支 社	〒668 豊岡市三坂町5-57	☎豊 岡 07962(3) 2221
湖 南 支 社	〒525 三重県志摩市志摩680-1	☎津 津 0775(62) 5311
松 根 支 社	〒522 松根町大森町12-11	☎松 根 0749(22) 3131
長 浜 支 社	〒526 長浜市南浜町3-1	☎長 浜 0749(62) 7171
本 社 ガスビル サービスセンター	〒541 大阪市中央区早野町4-1-2	☎大 阪 06 (202) 2221

大阪ガス株式会社